





















型の種類		拍数	1 拍の語	2 拍の語	3 拍の語	4 拍の語	5 拍の語	
平板式	平板型		 ヒ(ガ) 日(カ)	 トリ(ガ) 鳥(カ)	 ワタシ(ガ) 私(カ)	 トモダチ(ガ) 友達(カ)	 アカンポー(ガ) 赤ん坊(カ)	
		起		 ハナ(ガ) 花(カ)	 オトコ(ガ) 男(カ)	 イモート(ガ) 妹(カ)	 アンナイショ(ガ) 案内書(カ)	
起伏式	中			 オカシ(ガ) お菓子(カ)	 ヒラガナ(ガ) 平仮名(カ)	 ニホンジン(ガ) 日本人(カ)		
		高			 ドヨービ(ガ) 土曜日(カ)	 バンゴハン(ガ) 晩ご飯(カ)		
	型						 オジョーサン(ガ) お嬢さん(カ)	
		頭高型	 ヒ(ガ) 火(カ)	 アメ(ガ) 雨(カ)	 ミドリ(ガ) 緑(カ)	 ネーサン(ガ) 姉さん(カ)	 ドチラサマ(ガ) どちら様(カ)	

(●は名詞を構成する拍, ○は助詞の1拍, ただし助詞「ノ」は「尾高型」を「平板型」に変えたりするため除く)

表2 アクセントの型 (『日本語教育事典』より)





















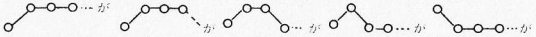
	平板式	起伏式				
	(0型)	(01型)	(02型)	(03型)	(04型)	(05型)
1 拍語						
2 拍語						
3 拍語						
4 拍語						
5 拍語						

表3 アクセント型 (『日本語教育事典』より)

(平板型) (尾高型) (中高型) (中高型) (頭高型)

トモダチ イモート アマガサ ムラサキ マイニチ



トモダチ イモート アマガサ ムラサキ マイニチ
 (『明解日本語アクセント辞典』『NHK 日本語発音アクセント辞典』など)
 tomodachi imoto amagasa murasaki mainichi
 tomodachi (研究社『和英辞典』)

トモダチ イモート アマガサ ムラサキ マイニチ
 (旺文社『小学国語辞典』など)
 三省堂『例解新国語辞典』

トモダチ イモート アマガサ ムラサキ マイニチ
 (田代兎二『美しい日本語の発音』ほか)
 ① ④ ③ ② ①
 (三省堂『新明解国語大辞典』ほか)
 (三省堂『大辞林』)

① ② ③ ④ ⑤
 (小学館『日本国語大辞典』)

トモダチが イモートが アマガサが ムラサキが マイニチが
 下中中中 下上上上中 下上上中中 下上中中中 上中中中中
 トモダチが イモートが アマガサが ムラサキが マイニチが
 (佐久間鼎『標準日本語の発音アクセント』)
 ① ② ③ ④ ⑤
 集英社『国語辞典』

表4 アクセント表記法のいろいろ

(『日本語音声学』の表をもとに加筆)

- ダイガクノ+トモダチガ→ダイガクノトモダチガ
- b) コノ+ヒラガナガ→コノヒラガナガ
- ダイガクノ+アンナイショガ→ダイガクノアンナイショガ
- c) ヨーチエンノ+アンナイショガ→ヨーチエンノアンナイショガ